

サミットの森

10年の歩み

北海道

GPN

Green
Purchasing
Network

グリーン購入ネットワーク





「サミットの森」プロジェクト 持続可能な社会を 「サミットの森」は2008



2009 美幌町植林



2008 白旗山植林



2012 美幌町植林



美幌町

カラマツ 19,600 本、
CO₂吸収量 1,570 t
札幌市（白旗山）
ミズナラ 800 本、
CO₂吸収量 17 t
札幌市（白旗山）
下草刈り 0.5ha



美幌町

カラマツ 6,398 本、
CO₂吸収量 990 t
札幌市（白旗山）
ミズナラ 550 本、
CO₂吸収量 12 t

壮瞥町

カラマツ間伐、約 1 ha
CO₂吸収量 26 t

札幌市（白旗山）

下草刈り 0.5ha



美幌町

カラマツ 6,612 本、
CO₂吸収量 1,137 t
札幌市（白旗山）
ミズナラ 400 本、
CO₂吸収量 8 t

苫小牧市

アカエゾマツ 110 本
CO₂吸収量 0.2 t

壮瞥町

カラマツ間伐、約 0.5ha
CO₂吸収量 10 t

札幌市（白旗山）

下草刈り 0.5ha



美幌町

カラマツ 9,826 本、
CO₂吸収量 1,527 t
札幌市（白旗山）
ミズナラ 400 本、
CO₂吸収量 8 t

札幌市（白旗山）

下草刈り 0.5ha



美幌町

カラマツ 9,937 本、
CO₂吸収量 1,569 t
札幌市（白旗山）
ミズナラ 400 本、
CO₂吸収量 8 t

札幌市（白旗山）

下草刈り 0.5ha

地域経済への貢献と遺産として
残る思いをこめて、
いま木はすくすく育っています。

2008年——。G8北海道洞爺湖サミットが開催されました。それを記念して、国内初の循環型社会モデルを目指して「レガシー・カーボンオフセットサミットの森」は誕生しました。レガシーには、この事業が地域経済に貢献し、オフセットされたものが着実に地元に遺産として残るという意味を込めています。

あれから10年、美幌町、札幌市に植林した木はすくすく育っています。



2010 美幌町下草刈り

事業報告(2008~2017)

構築するために、 年から始まりました。



美幌町

カラマツ 13,982 本、
CO₂吸収量 2,174 t

札幌市(白旗山)

ミズナラ 400 本、
CO₂吸収量 8 t

札幌市(白旗山)

草刈り 0.5ha
美幌町下草刈り体験
下草刈り 0.5ha



美幌町

カラマツ 13,406 本、
CO₂吸収量 2,085 t

札幌市(白旗山)

ミズナラ 400 本、
CO₂吸収量 8 t

札幌市(白旗山)

下草刈り 0.5ha
美幌町下草刈り体験
下草刈り 0.5ha



2017 美幌町植林



美幌町

カラマツ 6,610 本、
CO₂吸収量 1,028 t

札幌市(白旗山)

ミズナラ 400 本、
CO₂吸収量 8 t

札幌市(白旗山)

下草刈り 0.5ha
美幌町下草刈り体験
下草刈り 0.5ha



美幌町

カラマツ 3,785 本、
CO₂吸収量 590 t

札幌市(白旗山)

ミズナラ 200 本、
CO₂吸収量 4 t

札幌市(白旗山)

下草刈り 0.5ha
美幌町下草刈り体験
下草刈り 0.5ha



2017 白旗山下草刈り



美幌町

カラマツ 7,377 本、
CO₂吸収量 805 t

札幌市(白旗山)

ミズナラ 200 本、
CO₂吸収量 4 t

札幌市(白旗山)

下草刈り 0.5ha
美幌町下草刈り体験
下草刈り 0.5ha



2015 美幌町植林

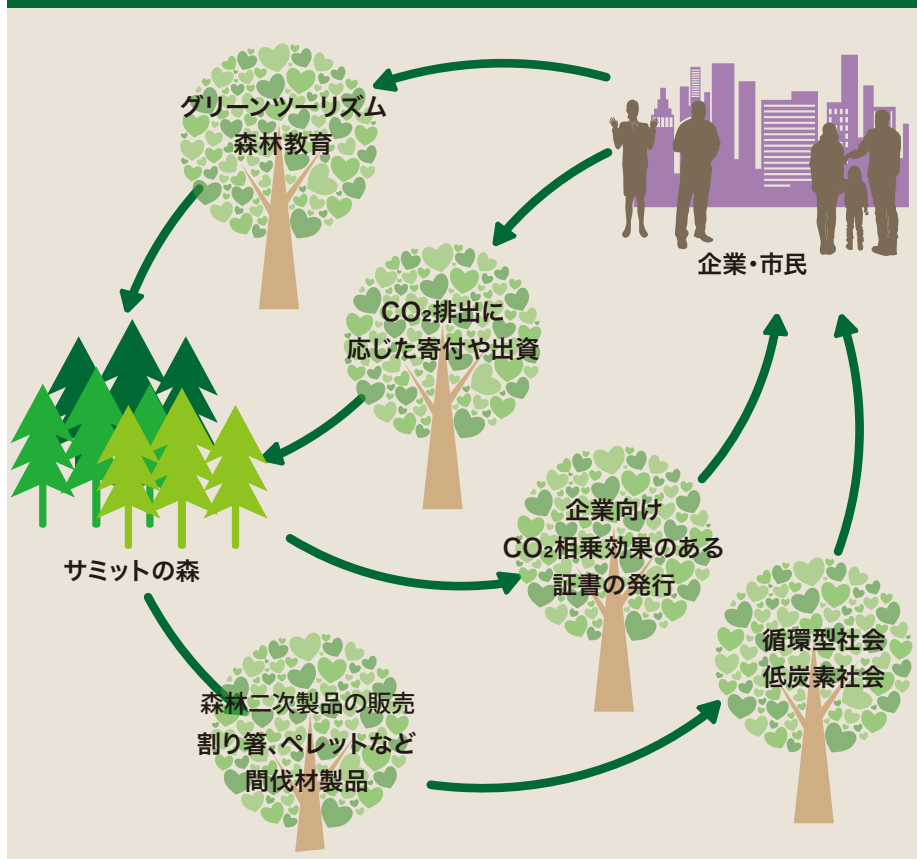


2016 美幌町植林

「サミットの森」とは

「サミットの森」とは、環境負荷を低減したいと考えている企業や個人に資金を募り、そのお金をもとに北海道の市町村などと協力して植林、間伐などの森林管理を行うことによりCO₂を吸収する「カーボンオフセット事業」のことです。具体的には、A町で管理するエリアに植林や間伐を施業し、20年間その森林を育成した場合のCO₂の吸収量を算出して、証書を発行しています(間伐の場合は、次回の間伐計画までの年数を元に算定)。

「サミットの森」 循環型社会モデル



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



これまでサミットの森に ご協力いただいた 企業・団体一覧

- 東京都市大学 TCU横浜祭実行委員会
(旧武蔵工業大学MI-TECH横浜祭)
- 株式会社プリプレス・センター
- 株式会社アイミック
- NPO 法人コンベンション札幌ネットワーク
- 永島忠修「能の会」
- 石上車輛株式会社
- 駒澤大学オータムフェスティバル
- 札幌開成高等学校 50 周年記念
- 中外写真薬品株式会社
- 財団法人製造科学技術センター
- 廃車ドットコム合同会社
- 株式会社北海道アルバイト情報社
- 外務省 (スマートエナジー)
- イオン、ミニストップ、東邦レオ、
オーデンシャインク東京支店
- CYCLEATION
- カーボンフリーコンサルティング株式会社
- 株式会社ピーアールセンター
- 株式会社アイドマ

(順不同)

■運営および事業団体

この事業は、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク (運営母体) と北海道グリーン購入ネットワーク (事業母体) によって運営されています。

NPO法人コンベンション札幌ネットワーク

コンベンションのさらなる振興と発展を図り、地域経済の活性化、学術文化の向上ならびに世界に開かれたまちづくりの推進に寄与することを目的に、2001年10月にコンベンション関連企業・施設・団体が参加して発足し、2004年11月に「NPO法人コンベンション札幌ネットワーク」を設立しました。現在、コンベンション関連企業114社が加入し、コンベンション誘致・創出、人材育成・グリーンMICEの推進などの活動を展開しています。

北海道グリーン購入ネットワーク

「グリーン購入」の普及を通じて、北海道内のものづくりや人々の暮らしがより環境に配慮されたものになるよう働きかけて、グリーン購入に役立つ様々な情報や、北海道内の取り組み、商品に関する情報などの提供やグリーン購入への理解を深め、普及させていくための学習会や研究会などを行っています。自由で柔軟な発想で、3R推進活動・地球温暖化防止活動などの様々な地球環境保全活動を行なっています。



北海道グリーン購入ネットワーク
HOKKAIDO GREEN PURCHASING NETWORK

〒060-0062

札幌市中央区南2条西6丁目14-5 大友ビル7階 Network-Lab 内

TEL: 011-222-0234 FAX: 011-222-0235

URL: www.hokkaido-gpn.org



※この報告書は平成29年度森と緑の会緑化公募事業により制作